



設置および操作

APC ES 750

BE 750G-JP

APC 製 UPS（無停電電源装置）をご使用にあたって

APC 製 UPS（無停電電源装置）をご使用の前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。本書は必要なときにすぐ見られるように大切に保管してください。




はじめに

- 本書は APC ES 750 を対象としています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記述もれ等、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 記載の商品名は、American Power Conversion Corporation の商標です。

安全に関する表記について [重要]









本書では、本装置を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。これらの絵表示の個所は必ずお読みください。また、本書を必ず熟読し、本装置をより安全にご活用ください。

• 安全性に関する事項

	危険	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	警告	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	指示を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

• 安全上の重要な注意事項



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容



	誤った取り扱いによって、発煙や発火の可能性があることを示しています。		安全のために、火気の使用を禁止することを示しています。
	誤った取り扱いによって、感電する可能性が想定されることを示しています。		安全のために、その行為を強制することを示しています。
	安全のために、その行為を禁止することを示しています。		安全のために、電源ケーブルの入力プラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のために、本装置の分解を禁止することを示しています。		安全のために、接地（アース）線を必ず接続するよう指示するものです。

安全上の注意 [重要]



本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

• 安全上の注意事項

 警告	
	本装置を安全に正しく使用していただくために、本書で説明する注意事項を必ずお読みください。注意事項を無視した取り扱いを行うと、装置が故障するばかりでなく、死亡・ケガ・やけど・感電等の人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。

 注意	
	本書を必ずお読みになり、誤った使用をしないようにしてください。また、「危ない」と感じたときは本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。

• 本装置に関する注意事項

 警告	
	無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">• 人体／生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御• きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器等の制御• 工作機械の制御• 交通機関（電車や自動車等）の制御や管制

使用目的と制限事項

1. 電波障害について（クラス B 情報技術装置）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2. 装置から放射される電磁波の影響

本装置に限らずコンピュータと呼ばれるものは、その動作原理により装置から電磁波を放射します。現在の技術では、装置から放射される電磁波を完全にシャットアウトすることはできません。特に電波によるリモートコントロールを行っている機械の近くで本装置を使用した場合、機器の誤動作の原因となります。

このような機器のそばで本装置をお使いになる場合は、電磁シールド等の対策を行なう必要があります。

3. 輸出 / 海外での使用について

この装置は、日本国内仕様です。したがって、製品を輸出した場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本装置に対する海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。



4. データ保護について

装置の故障または誤動作によるデータの破損、及び稼動中に発生する不測の事態等に備え、お客様の責任においてデータを保護してください。




運搬、設置、配線における注意事項

本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

• 運搬に関する注意事項

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">• 持ち運びの際は各製品のユーザズマニュアルに従って適切な人数にて運んでください。• 無停電電源装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。

• 設置に関する注意事項

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none">• 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。• 本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。



警告



- 本装置は内部にバッテリーを含んでいます。AC 電源に接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- UPS の電源が入っている時は電源ケーブルの入力プラグを抜かないでください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。
- 発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。



- 本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。
- 本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。
- 本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。
- 塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。



- 本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。
- 本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。



注意



- 本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。
- 本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。
- 常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。

配線に関する注意事項



注意



- AC100V (50/60Hz) の電源電圧にてご使用ください。規定以外の AC 電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。
- アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電の原因となります。また、ノイズ混入の原因にもなります。
- 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、出力コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。
- コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水等で濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- 電源ケーブルの抜差しは、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。



- 電源ケーブルを足でひっかけるといった場所には配線しないでください。つまずいて怪我をすることがあります。
- 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線（とくに大電力を消費する機器等）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。

使用上の注意事項

本装置を安全に使用するための注意事項を表記いたします。

• 本装置の禁止事項









注意



- 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適していません。
- この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適していません。
- レーザプリンタを本装置のバックアップコンセントに接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

• 使用上の注意

 危険	
	<ul style="list-style-type: none"> 無停電電源装置を停止する前に、接続機器を停止させること（停止方法は接続機器の取扱説明書参照）。接続機器を停止させずに無停電電源装置を停止させると、処理中のデータを破壊する原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 本装置の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
 	<ul style="list-style-type: none"> 絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。 強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。

バッテリーの寿命




本装置では、バッテリーを使用しています。このバッテリーには寿命があり、バッテリーの寿命を越えた状態で使用された場合、思わぬ障害を発生させる原因となります。予防保全のためにも、バッテリーは必ず定期的に交換してください。なお、電池工業会では小形制御弁式鉛蓄電池の安全の取扱いの指針（電池工業会指針：SBA G 0202）に基づき、以下のとおり取替え時期を定義しています。

使用温度条件	取替え時期の目安
5 ～ 25℃	4.0 年
30℃	2.8 年
35℃	2.0 年

※ 取替え時期の目安は、保証値ではありません。

取替え時期を過ぎて使用すると、バッテリーの機能を発揮できなくなるだけでなく、バッテリーの内部短絡や電槽の破損等が発生し、発煙、火災の原因となる場合があります。そのため、バッテリーは必ず定期的に交換してください。また、バッテリーの使用個数の多い機器や信頼性の要求される重要な使用機器においては、取替え時期を早めてください。





• バッテリーの寿命





 警告	
 	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーは必ず定期的に交換してください。• バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。• バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。• 本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。• 本装置は周囲温度が 5~25 °C の範囲内で管理することをお薦めします。

バッテリー交換に関する注意事項

本装置のバッテリーを交換する上での、安全上の注意事項を表記いたします。

• バッテリー交換時の注意

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーは定期的に交換してください。• バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。• 万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none">• 本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。• バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。• バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。

 警告	
  	<p>バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電または火傷のおそれがあります。次の注意事項を必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。• 絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。• バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。 <p>バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。</p> <p>最初に UPS に取り付けられていたバッテリーと同一仕様のバッテリーに交換してください。APC 製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。</p> <p>UPS がバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。</p>

• バッテリーのリサイクルについて

本装置には、鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルへご協力ください。



- バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。
- バッテリーキットの交換とバッテリーのリサイクルについての詳細は、弊社までお問い合わせください。
- 使用済みバッテリーは必ずリサイクルしてください。使用済みバッテリーは、バッテリー交換用の梱包材を使用して指定の宛先に送料お客様負担にて郵送を送付願います。
- 使用済みバッテリーの郵送先は、交換バッテリーキットをご参照ください。

保守に関する注意事項

本装置の保守に関する注意事項を表記いたします。

• 点検とお手入れ



警告



保守員以外の方は、本装置の分解、修理、改造等しないでください。分解、修理、改造等すると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。



- 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、本装置正面パネルのオフボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜いてください。
- 本装置はバッテリーを搭載しているため、電源ケーブルを外した状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分がありますので、絶対に装置内部に触れないでください。
- 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。
- 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置に触れないでください。感電することがあります。



注意

本装置をより良くご使用いただくために、次の事に注意して定期的に点検してください。



- 本装置正面パネルにある LCD 表示板やボタンが壊れていないか、点灯していることを点検してください。
- 設置されている部屋の温度や湿度を点検してください。
- 本装置のお手入れは、乾いたきれいな布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。外装を痛めたり、故障の原因となることがあります。
- 年に一度、ケーブルや電源コードがすり切れていないか、変質しているところがないか点検してください。

保管に関する注意事項

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式鉛蓄電池の安全の取扱いの指針（電池工業会指針：SBA G 0202）に基づき、以下のとおり充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25°C 以下	6ヶ月
30°C 以下	4ヶ月
35°C 以下	3ヶ月
40°C 以下	2ヶ月

• 無停電電源装置の保管



危険

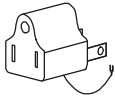
本装置を長期間保管する場合は、次の事に注意してください。



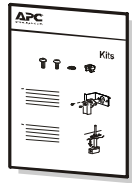
- 保管前はバッテリーを十分に充電してください。
- 乾燥した温度の低いところに保管してください。
- バッテリーは保管中も劣化するため、なるべく早く使用してください。
- 40°C を超えての保管は避けてください。
- 使用前には、必ず充電をしてください。
- 定期的にバッテリーの充電を行ってください。

APC™ ES 750

付属品一覧



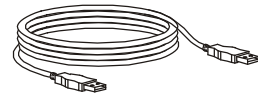
入力プラグ変換アダプタ



ユーザーズマニュアル



電源管理ソフトウェア
(PowerChute Personal Edition)



USB 通信ケーブル



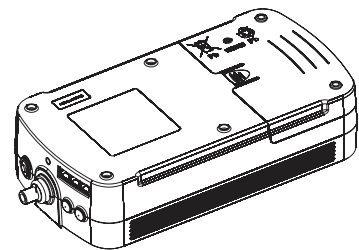
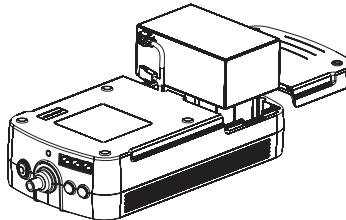
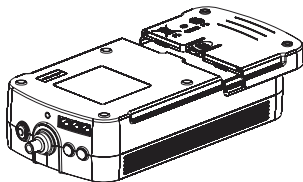
電話回線用ケーブル

バッテリーの接続

- 使用開始にあたっては、下図に従いバッテリーを接続してください。

注意：バッテリー接続の際に、小さな火花が発生する場合があります。これは通常の動作です。

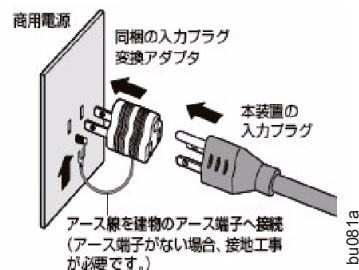
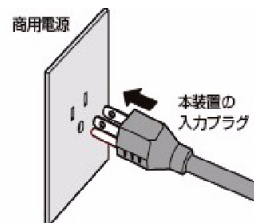
- 1 本装置を裏返して、カバーのくぼみ部分を押しながら、カバーをスライドさせて装置から取り外します。
- 2 バッテリーを引き出し、赤のバッテリーワイヤをしっかりと奥まで差込みます。
- 3 バッテリーを元の位置に戻し、つめが完全にロックされるまでバッテリーカバーをスライドさせます。



バッテリーの充電

十分なバックアップ時間を確保するには、本装置を 16 時間以上充電する必要があります。電源オン/オフに関わりなく商用電源に接続されていれば、本装置は充電されます。

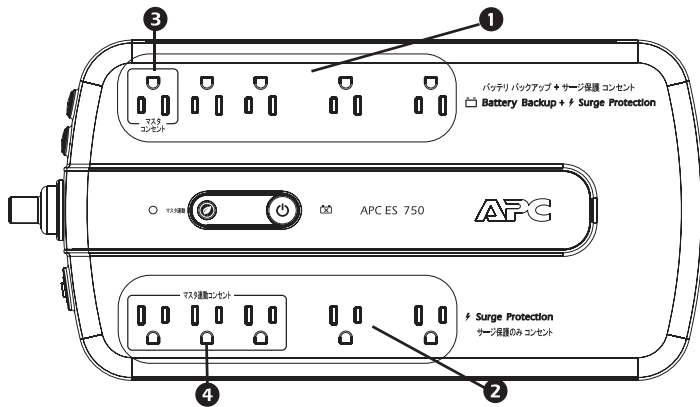
商用電源コンセントが 2 穴の場合には、付属の 3P-2P 変換アダプタを使用してください。



機器の接続

☐ バッテリバックアップ + ⚡ サージ保護コンセント

バッテリバックアップ+サージ保護コンセントは、本装置の電源がオンの時に、接続している機器に電源を供給します。電源障害（瞬停、過電圧）が発生している際は、このコンセントに接続された機器はバックアップ可能な時間内で本装置から電源を受けます。コンピュータ、モニタ、その他の周辺機器等を接続してください。



- ① バッテリバックアップ+サージ保護コンセント
- ② サージ保護のみコンセント
- ③ マスタコンセント
- ④ マスタ連動コンセント

⚡ サージ保護のみコンセント

サージ保護のみコンセントに接続された機器は電源のオン/オフに関わらず、常にサージ保護されます。バッテリ電源を必要としないプリンタ、FAX 機器、スキャナやその他の周辺機器等を接続してください。

出力容量を守ってご使用ください。
本装置は、下記の環境を避けて配置してください。

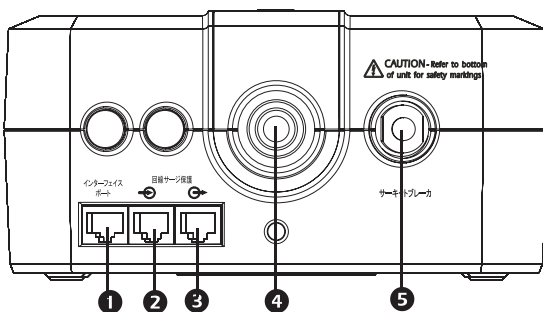
- 高温や直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や水がかかる恐れのある場所



本装置は、壁面のコンセントに直接接続してください。サージ保護装置やテーブルタップには接続しないでください。

モデム / 電話 / DSL / FAX / 10/100 Base-T の接続

本装置を介して接続された単回線（2線）電話（DSL を含む）、モデム、10/100Base-T イーサネット、FAX 機器をサージから保護します。



- ① インターフェイスポート（PC 接続用）
- ② 回線サージ保護（入力）
- ③ 回線サージ保護（出力）
- ④ 電源コード
- ⑤ サーキットブレーカ

電源をオンにする

電源スイッチボタンを押して、本装置の電源をオンにします。

短い通知音が一度鳴ります。緑の電源 LED が点灯すると、本装置の電源がオンになり電源保護が可能な状態となります。

十分なバックアップ時間を確保するには、本装置を 16 時間以上充電する必要があります。電源オン/オフに関わりなく商用電源に接続されていれば、本装置は充電されます。

PowerChute™ Personal Edition ソフトウェアのインストール

同梱の USB ケーブルでインターフェイスポートと PC を接続し、PowerChute Personal Edition CD をコンピュータに挿入して、表示されるインストール画面の指示に従ってください。

※ 自動でインストール画面が表示されない環境の場合は、PowerChute Personal Edition CD 内の setup.exe を実行してください。

マスタ連動コンセント機能

待機電力の節約をするには、マスタ装置（デスクトップコンピュータ、AV 機器等）と制御される周辺機器（プリンタ、スピーカー、スキャナ等）を認識するよう本装置を設定します。マスタコンセントに接続された機器がスリープモードやスタンバイモードの時、または電源がオフの時に、マスタ連動コンセントに接続された機器もシャットダウンされ待機電力を節約します。



注意：本装置の出荷時にはマスタ連動コンセント機能は無効になっています。本機能を使用するには、マスタ連動コンセント機能を有効にする必要があります。

マスタ連動コンセント機能のオン マスタ連動ボタンを 2 秒間押し続けます。マスタ連動コンセント機能が有効になったことを示す通知音が本装置から発生します。マスタ連動 LED が点灯します。

マスタ連動コンセント機能のオフ マスタ連動ボタンを 2 秒間押し続けます。マスタ連動コンセント機能が無効になったことを示す通知音が本装置から発生します。マスタ連動 LED は消えます。

マスタ連動コンセントの切替値設定

スリープモードまたはスタンバイモード状態で使用される電力量は、装置によって異なります。マスタコンセントからマスタ連動コンセントにシャットダウンの信号を送信する電力量の切替値を以下の手順によって、本装置に認識させる必要があります。

1. マスタ装置がマスタコンセントに接続されていることを確認します。マスタ装置をスリープ/スタンバイモードにするか、電源をオフにします。
2. マスタ連動ボタンを 6 秒間押し続けます。最初の 2 秒が過ぎると、装置から通知音が発生します。装置から連続で 3 回通知音が発生するまで、ボタンを押し続けます。その後、マスタ連動ボタンを放します。

この手順によって、本装置でマスタ装置が認識され、新しい設定として保存されます。

バッテリー運転切替値（感度と電圧）設定

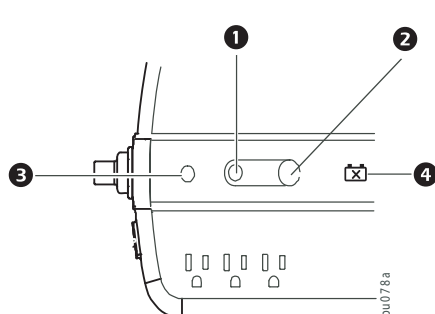
使用条件に応じて、バッテリー電源に切り替わる電圧と感度を設定します。感度を高くするほど、バッテリー電源に切り替わる頻度が多くなります。バッテリー運転切替値を設定するには、次の手順に従ってください。

1. 商用電源に本装置を接続します。本装置はスタンバイモードになります（電源 LED は点灯しません）。
2. 電源 LED と要バッテリー交換 LED が点滅してプログラムモードになったことを示すまで、電源スイッチボタンを 10 秒間押し続けます。
3. 電源スイッチボタンを放した時に点灯している LED が、現在のしきい値設定（低、中、高）を示します。（設定の詳細については下表をご参照ください。）
4. 電源スイッチボタンを押すことにより、他の切替値を選ぶことができます。
5. プログラムモードを終了するには、ボタンを放し約 5 秒間待機します。LED 表示がオフ（消灯）になります。

LED の点滅	切替感度の設定	入力ワット数範囲 (商用電源)	使用条件
電源 LED (緑)	低	87-113	入力電圧が極めて低い、または高い場合。コンピュータ機器への使用はお勧めしません。
要バッテリー交換 LED (赤)	中 (デフォルト設定)	90-110	装置が頻繁にオンバッテリー稼動になる場合。
電源 LED (緑)、要バッテリー交換 LED (赤)	高	93-107	接続されている負荷機器が電圧変動に対し鋭敏な場合。

状態の表示

本装置は、LED と通知音の組み合わせで稼動状態を通知します。装置の状態を確認するには、次の表をご覧ください。



- ① マスタ連動ボタン
- ② 電源スイッチボタン（電源 LED 一体型）
- ③ マスタ連動 LED
- ④ 要バッテリー交換 LED

状態	LED 表示	警告音	警告音停止の条件
電源オン - 本装置は、接続されている機器に調整された商用電源を供給しています。	電源 LED - 点灯	なし	-
オンバッテリー - 本装置はバッテリーバックアップ側のコンセントに接続されている機器に、バッテリーから電力を供給しています。	電源 LED - 点灯 (通知音発生中は消灯)	30 秒毎に 4 回の通知音	本装置がオンライン稼動に移行した場合、または本装置の電源をオフにした時
バッテリー残量警告 - 本装置はバッテリーバックアップ側コンセントに接続されている機器にバッテリーから電力を供給しており、バッテリー残量が低下しています。	電源 LED - 点滅 (0.5 秒毎)	通知音が急速 (0.5 秒毎)	本装置がオンライン稼動に移行した場合、または本装置の電源をオフにした時
バッテリー交換 - バッテリーが接続されていません。	要バッテリー交換 LED - 点滅	連続音	電源スイッチで本装置の電源をオフにした場合
バッテリーを充電する必要があります。または、バッテリーが通常の寿命を終えておりバッテリーの交換が必要です。	電源 LED と要バッテリー交換 LED - 交互に点滅	連続音	
過負荷シャットダウン - オンバッテリー稼動中に、バッテリーバックアップ側コンセントの過負荷が検出されました。	なし	連続音	電源スイッチで本装置の電源をオフにした場合
スリープモード - オンバッテリー稼動中にバッテリー残量が全く無くなり、本装置はオンライン稼動が可能になるまで待機しています。	なし	4 秒毎に 1 回の通知音	商用電源が回復した場合、商用電源が 32 秒以内に回復しない場合、または本装置の電源をオフにした時

トラブルシューティング

問題	原因	対処方法
本装置の電源がオンにならない。	バッテリーが接続されていない。 商用電源が使用できなくなっている。または商用電源が「電圧低下」または「過電圧」状態。	バッテリーを接続して（「バッテリーの接続」を参照）、商用電源が使用できるか確認してください。バッテリーを接続しているのに電源が使用できない場合は、通知音が2回鳴るまで電源ボタンを押し続けて装置を「コールドスタート」（バッテリー電源での稼動）します。
サージ保護コンセントで電源を使用できない。	サージ保護コンセントが過負荷。 商用電源が使用できない。	サージ保護コンセントに接続している機器の数を減らしてください。 コンセントのヒューズやサーキットブレーカが作動していないか確認してください。また、コンセントを制御するスイッチがある場合はスイッチがオンになっていることを確認してください。
本装置の電源がオンで要バッテリー交換 LED が点滅し、連続音を発している。	バッテリーが接続されていない。	バッテリーを接続します（「バッテリーの接続」図を参照）。
接続されている負荷機器の電源が消失している。	機器がサージ保護コンセントに接続されている。 本装置が過負荷の状態になっている。 PowerChute Personal Edition ソフトウェアで、シャットダウンが実行された。 本装置で使用可能なバッテリー容量が低下している。 接続されている負荷機器が、本装置の電力波形（矩形波）を受け入れない。 本装置が故障している。	電源障害時にも電源を維持する機器が、「サージ保護」のコンセントではなく「バッテリー電源+サージ保護」コンセントに接続されているか確認してください。 装置のコンセントに接続されている機器が、本装置の容量を超える過負荷の状態になっていないか確認してください。確認のためには、機器をいくつか取り外して、問題が解消されるかどうかを確認してください。 電源障害に対する動作です。本装置は通常に稼動しています。 バッテリー電源を使い切ると、本装置の電源はオフになります。最大バックアップ時間を確保するには、本装置を16時間以上再充電してください。 この出力波形は、コンピュータやコンピュータ関連機器用に設計されています。モータ駆動の機器での使用向けには設計されていません。 より詳しくは、APC テクニカルサポートにお問い合わせください。
本装置の電源 LED が点灯し、30 秒毎に 4 回警告音を発生する。	本装置でバッテリーを使用し、電源を供給している。	本装置はバッテリー電源で正常に稼動しています。オンバッテリー稼動時に現在の作業を保存する場合は、機器の電源を切り、本装置の電源をオフにしてください。通常の電源が復旧したら、再び本装置と機器の電源をオンにしてください。

問題	原因	対処方法
本装置の電源 LED が点滅し、同時に 1 秒に 2 回警告音が発生する。	バッテリー容量が低下している (約 2 分間使用できる残量)	本装置は、バッテリー充電容量低下のためシャットダウンする寸前です。通知音が毎秒 2 回発生する場合、バッテリー残量は約 2 分間です。コンピュータと装置の電源は、オフになります。通常の電源が回復すると、装置はバッテリーの再充電を開始します。
バックアップ時間が不十分。	バッテリーが完全に充電されていない。 バッテリー寿命が終了する寸前である。	16 時間以上、装置を壁面のコンセントに接続したままにしてください。 バックアップ時間の長さは、バッテリー寿命が近づくに従って減少します。より詳しくは、APC テクニカルサポートにお問い合わせください。本装置を過度の高温環境に配置すると、バッテリー寿命が短くなります。
本装置から電話 /FAX/ DSL/LAN ケーブル信号またはネットワーク信号が送信されない。	通信用ケーブルが、本装置の誤ったジャックに接続されている。	通信用ケーブルを回線サージ保護の In 側と Out 側のそれぞれ正しい位置に接続してください。電話回線の場合は付属品を使用していることを確認してください。
電源障害中にインターネット接続が消失した。	モデムの AC 電源が消失している。	モデムの AC 電源コードを「バッテリーバックアップ+サージ保護コンセント」の 1 つに接続してください。

仕様

モデル	BE750G-JP	
入力	電圧	公称 100 VAC
	周波数	50/60 Hz +/-3 Hz (自動検出)
	入力電圧許容範囲 (下限)	90 VAC、(初期設定)
	入力電圧許容範囲 (上限)	110 VAC、(初期設定)
出力	UPS 容量 (コンセント 5 個)	750 VA / 450 W
	電圧 - オンバッテリー	100VAC +/-8% (矩形波)
	周波数 - オンバッテリー	50/60 Hz +/- 1 Hz
	切替時間	6 ms (標準)、10 ms (最大)
保護および フィルタ	AC サージ保護	825 ジュール
	電話 /FAX/DSL サージ保護	単回線 (2 線)
	ネットワークのサージ保護	10/100Base-T イーサネット
	EMI/RFI フィルタ	あり
	AC 入力	サーキットブレーカ (リセット可能)
バッテリー	形式	小形シール鉛蓄電池 (長寿命タイプ) BR750G-JP 用のバッテリー交換部品は RBC17J。 使用済みのバッテリーはリサイクルしてください。
重量・寸法	正味重量	0 °C ~ 40 °C
	寸法	-15 °C ~ 40 °C
環境	動作温度	0 ~ 95 % (結露なし)
	保管温度	0 ~ 3,000 m
	動作湿度	0 °C ~ 40 °C
	動作高度	-15 °C ~ 40 °C
規格		cTUVus 認可 per UL 1778 および CSA C22.2 No. 107.1、 VCCI Class B 

サービス

株式会社エーピーシー・ジャパンは、本装置が購入日から2年間の無償保証期間中に万一故障した場合は、本装置の保証規定に基づき保守サービスを提供いたします。株式会社エーピーシー・ジャパンはいかなる場合においても、本製品の仕様から生じる、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的な損害に関して、そのような損害の可能性についての連絡をいただいた場合でも、上記の保証規定以外は一切の責任を負わないものとします。特に利益や収益の損失、装置の損失、装置使用不能による損害、ソフトウェアの損失、データの損失、代用品の費用、第三者からの損害請求、その他の費用については一切の責任を負いません。

本書「トラブルシューティング」をご参照ください。それでも問題が解決されない場合はコールセンタにお問い合わせください。本装置の故障と判断された場合、本装置購入日より30日以内の故障には、初期不良として、新品あるいは新品同等品を交換対応いたします。その際、購入日を証明できる書類を確認させていただきますので納品書（購入時の伝票等）は保管しておいてください。

保証

本装置の無償保証期間は2年間です。ユーザ保証登録時に申請いただきました本装置購入日を起算日とします。ユーザ保証未登録の場合は、原則として本装置のシリアル番号から製造時期を確認し、それより27ヶ月間を無償保証期間とします。

*無償保証期間内でも次の場合はサポート対象外です。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお扱いが適切ではないために生じた故障・損傷の場合。
2. 火災・地震・風水害・落雷等の天災地変、テロ、暴動、公害、煙害、ガス害（硫化ガス棟、異常電圧や指定外の電源使用等による故障・損傷の場合。
3. ご使用での誤り、あるいは不当な修理・調整・改造を行ったことによる故障・損傷の場合。
4. 海外で使用された場合。

本装置には製品保証書が同梱されていません。製品購入日より10日以内に、ユーザ保証登録ページ (<http://www.apc.com/jp/s/sands/register/index.cfm>) よりご登録ください。ユーザ保証登録ページからご登録ができない場合はコールセンタまでご連絡ください。弊社での登録完了後、製品保証登録完了の通知をご登録いただきましたメールアドレスへ送らせていただきます。

APC by Schneider Electric IT ワールドワイドカスタマサポート

特定のカスタマサポートの国については、APC by Schneider Electric Web サイト (www.apc.com) をご覧ください。

お問い合わせをいただく前に

はじめに本書、またはホームページ <http://www.apc.com/jp> をご覧ください。お問い合わせいただく際は、以下の情報をご用意ください。

UPS 本装置の製品型番とシリアル番号

電源管理ソフトウェア OS、電源管理ソフトウェアのバージョン

APC WEB Support

ご使用の不明な点、技術的なお問い合わせ、及び故障受付のホームページです。

<http://www.apc.co.jp/sands/>